

熱塩加納地区小学校統合準備委員会だより No.2

令和6年4月1日発行

【編集・発行】熱塩加納地区小学校統合準備委員会

(事務局：教育委員会学校教育課 Tel24-5314)

第2回 熱塩加納地区小学校統合準備委員会を開催しました

令和6年2月28日(水)、第2回熱塩加納地区小学校統合準備委員会を開催し、校名の公募結果を確認の後、新たな小学校の校名について協議しました。

また、校歌と校章の作成方法について協議しました。



第3回 熱塩加納地区小学校統合準備委員会を開催しました

令和6年3月18日(月)、第3回熱塩加納地区小学校統合準備委員会を開催し、第2回に引き続き新たな小学校の校名について協議し、当委員会として『熱塩加納小学校』を新たな小学校の校名として選定しました。

また、校歌と校章の作成方法について協議するとともに、統合後の通学についての検討状況について通学部会から報告がありました。

新たな小学校の校名を選定しました

過日、熱塩加納地区を対象に実施しました校名の公募結果(裏面)を踏まえ、委員会で慎重に協議した結果、『熱塩加納小学校』を新たな小学校の校名として選定しました。

今後、教育委員会や市議会の議決を経て正式に決定となります。

名 称：熱塩加納小学校

選定理由：「熱塩加納」という先人が築き上げたブランド名を校名にすることで、地域住民だけでなく市内外の人々も、所在地や地域性を容易にイメージすることができ、親しみやすく感じることができる。

また、子どもたちは「熱塩加納小学校」という新たな校名から、自分たちや先人の学びの場であった「熱塩小」「加納小」それぞれの存在と歴史を身近なものとして感じ取ることができる。

子どもたちが未来への希望を持ち、地域の方々と共に愛着と誇りを持って学べる場となることを願って「熱塩加納小学校」とする。

校歌、校章の作成方法を協議しました

小学校の統合に伴う校歌と校章の作成方法については、協議の結果、開校までの時間的制約等から公募は行わず、校歌と校章を作成する際に、熱塩加納の自然、歴史、伝統を踏まえた言葉やフレーズ、デザインを盛り込むよう作者に依頼することになりました。

なお、作者は別途人選することになりました。

校名の公募結果

- ・対 象 者……熱塩加納地区の各世帯（1世帯1票）
- ・配布方法……委員会だよりNo.1 に公募用紙を含めて熱塩加納地区の全世帯に配布
- ・公募期間……令和6年2月1日～2月16日
- ・応募総数……28件

名 称	件数	理由（抜粋）
熱塩加納小学校	8件	・それぞれ歴史のある両校の名前を今後も引き継ぎたいため。 ・馴染みのある地名でもあるため。 ・両校の特色を兼ね備えた校名が統合してふさわしいと思うから。 ・町名、その町にある小学校。四文字で長いかもしれないが、一番シンプルで分かりやすい。他地域からも認知されやすい。
会北小学校	7件	・今の中学校の名前を残すため。（中学校の統合で「会北」がなくなってしまうかもしれないから） ・漢字が簡単で書きやすい。 ・会北中学校の知名度があることにより、より多くの人に受け入れられやすいのではないか。
ひめさゆり小学校	3件	・熱塩加納町を代表する花だから。 ・市の花であるひめさゆり、その地元の小学校。
さゆり小学校	2件	・市花ひめさゆりにちなんで。 ・名前が優しくて呼びやすそうだから。
ひまわり小学校	2件	・すくすくと長生きするひまわり 元気になる花 ・新しい熱塩加納のシンボル
すぎのめ小学校	1件	・旧熱塩加納村の村の木。まっすぐ伸びる杉の木のような人間を育てるイメージ、「子供＝芽」と置き換え、杉の芽→すぎのめ
会津熱塩加納小学校	1件	・「会津」の主張は今しかない。（LOGO 的にも、6文字は便利である）
熱加小学校	1件	・熱塩村と加納村が合併したから、其の頭文字を取った。
里山わくわく小学校	1件	・わくわく小学校をめざして、リラックスして「ワーイ」となるような学校にしてほしいから。
美郷（みさと）小学校	1件	・美しい故郷そのものが学び舎となり、心と体が健やかに育ってほしいとの願いを込めて、美しい故郷→美郷（みさと）。
熱塩加納のぞみ小学校	1件	・子供、親、地域住民の希望、のぞみが叶う小学校であってほしいから。

公募にご協力いただきありがとうございました。

おわりに

令和7年4月の開校に向けて、当委員会では協議を継続していきます。

地域の皆様、子どもたちのより良い学びの環境を整えるため、何卒、ご理解とご協力をお願いします。

